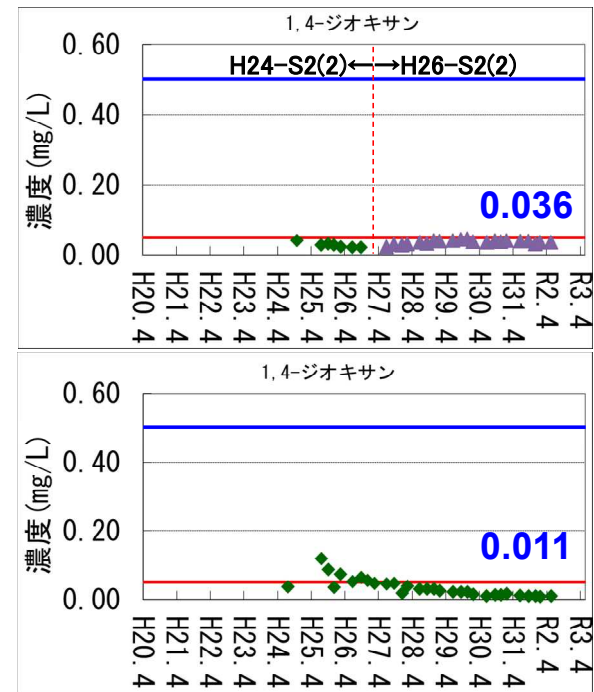
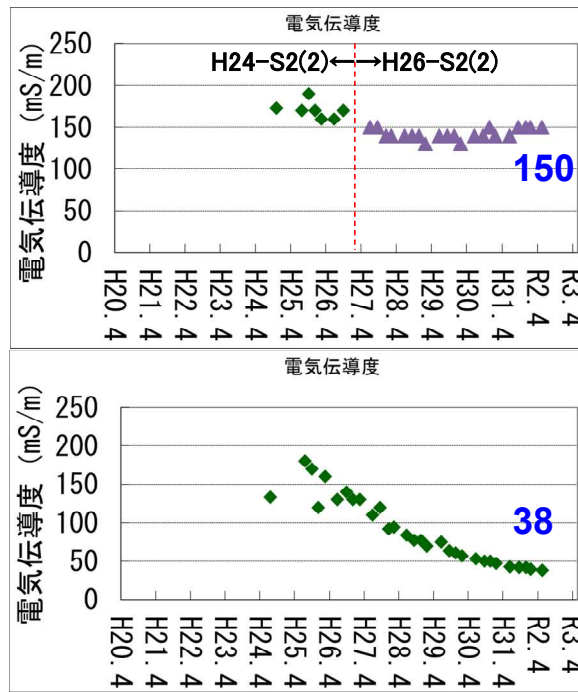
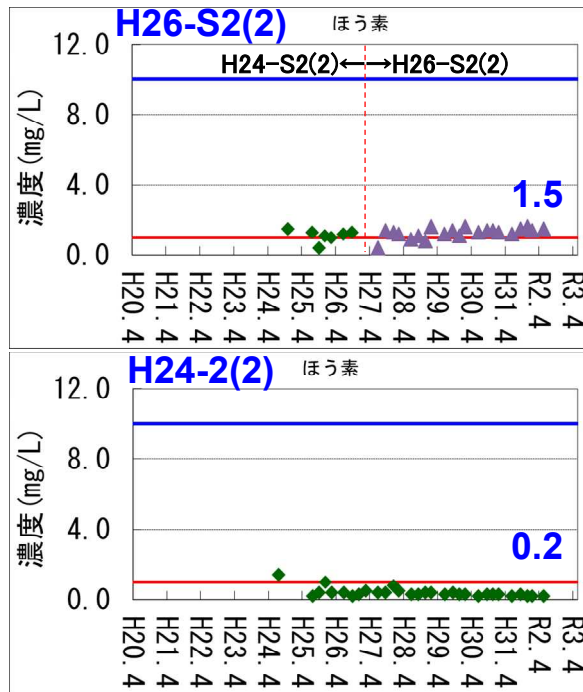


H26-S2(2)の地下水水質(Ks3層) について

令和2年(2020年)8月27日

H26-S2(2)水質の現状(有害物質・EC)



(参考)
H22-オ-1(2)の
浸透水水質
(H23.8.1採水)

1.5 mg/L

172 mS/m

0.031 mg/L

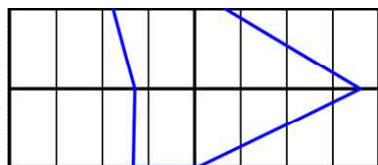
遮水後のH26-S2(2)水質に大きな変動はなく、
遮水前の浸透水水質と同程度である。
H24-2(2)への汚染の拡大は見られない。

H24-2(2)○

H26-S2(2)水質の現状(イオン組成)

H24-S2(2)

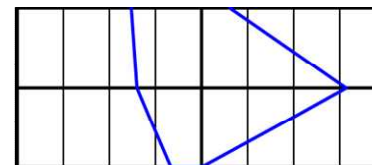
H24年度



EC 173mS/m

H22-オ-1(2)

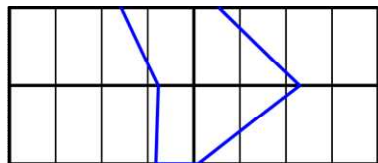
H23年度



EC 172mS/m

H26-S2(2)

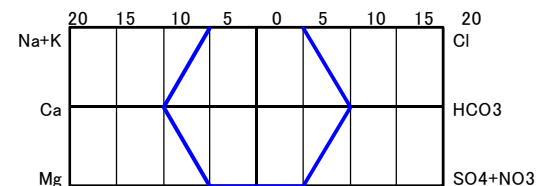
H28年度



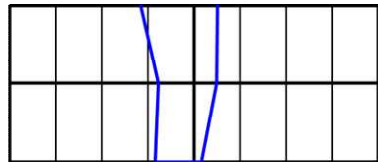
EC 140mS/m

遮水壁施工

凡例

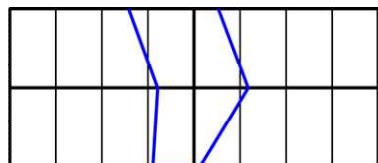


H29年度



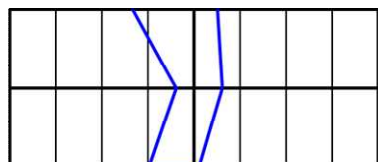
EC 140mS/m

H30年度



EC 140mS/m

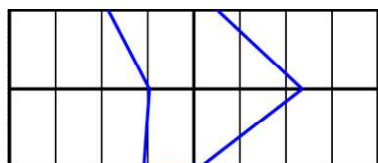
R1年度



EC 140mS/m

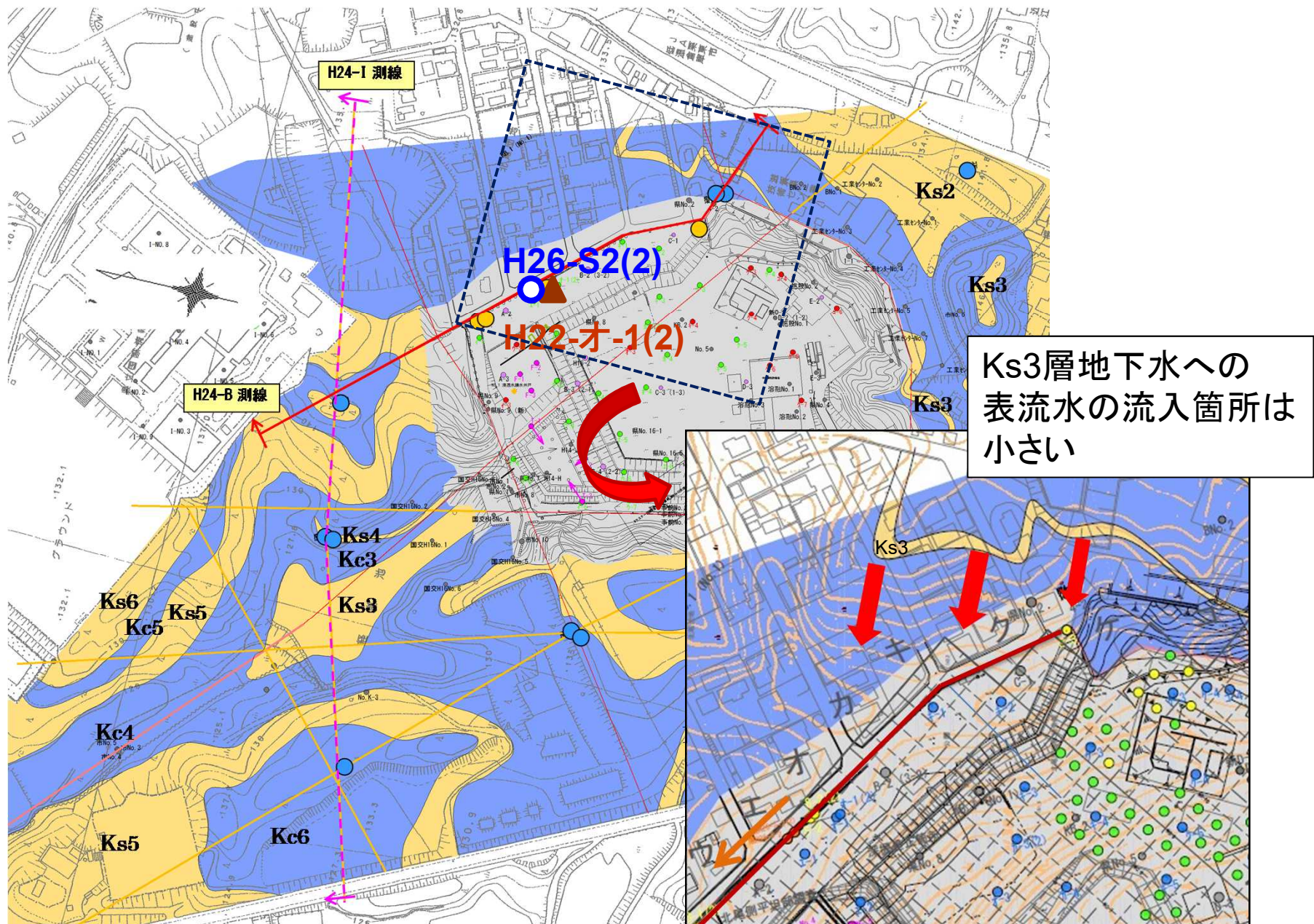
遮水後のイオン組成に大きな変動はなく、
遮水前の浸透水と同程度である。

R2年度

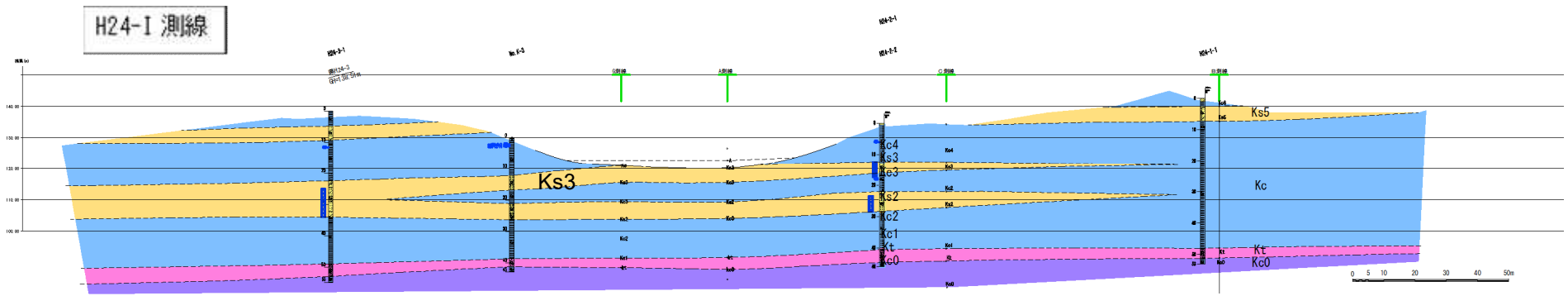
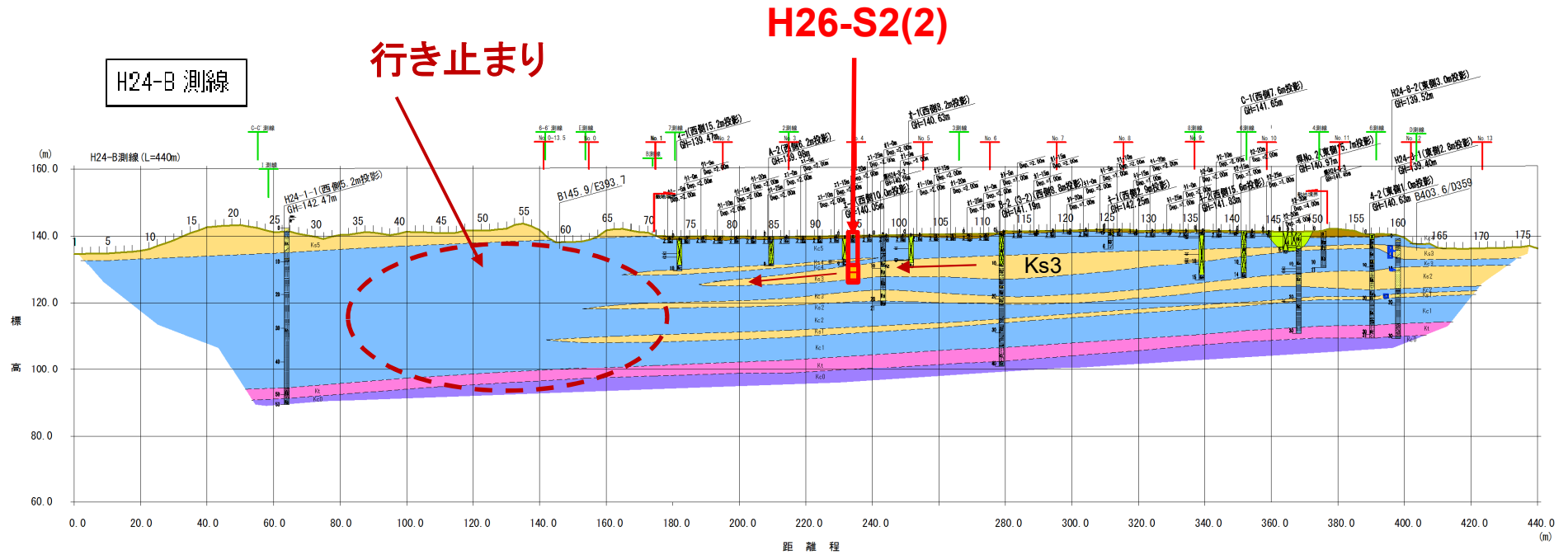


EC 150mS/m

H26-S2(2)付近の地質①



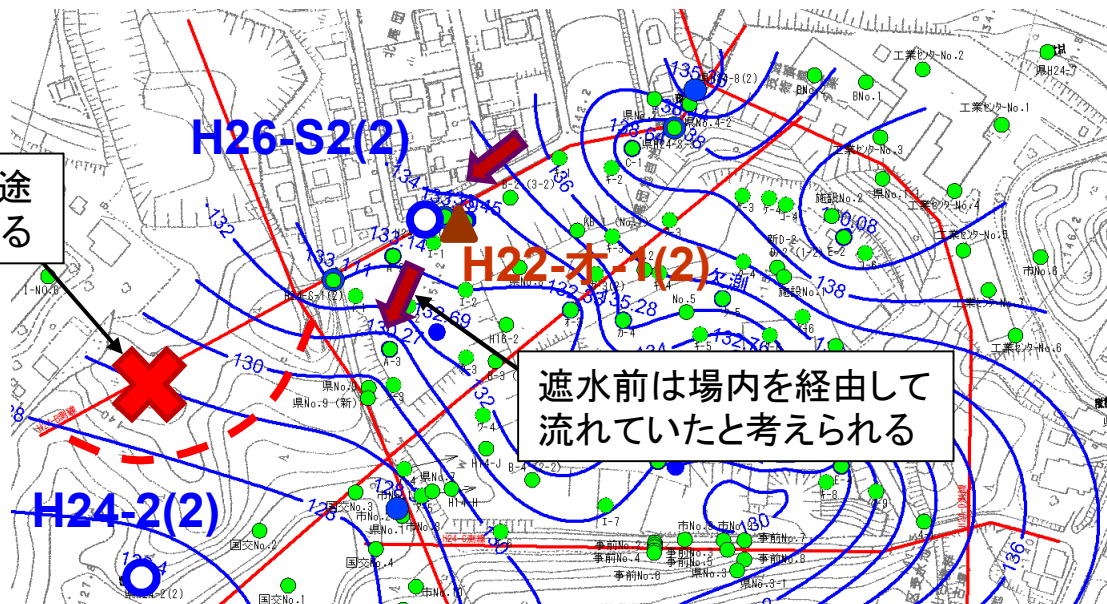
H26-S2(2)付近の地質②



地質から想定されるKs3層地下水の流れ

遮水前

Ks3層が途切れている

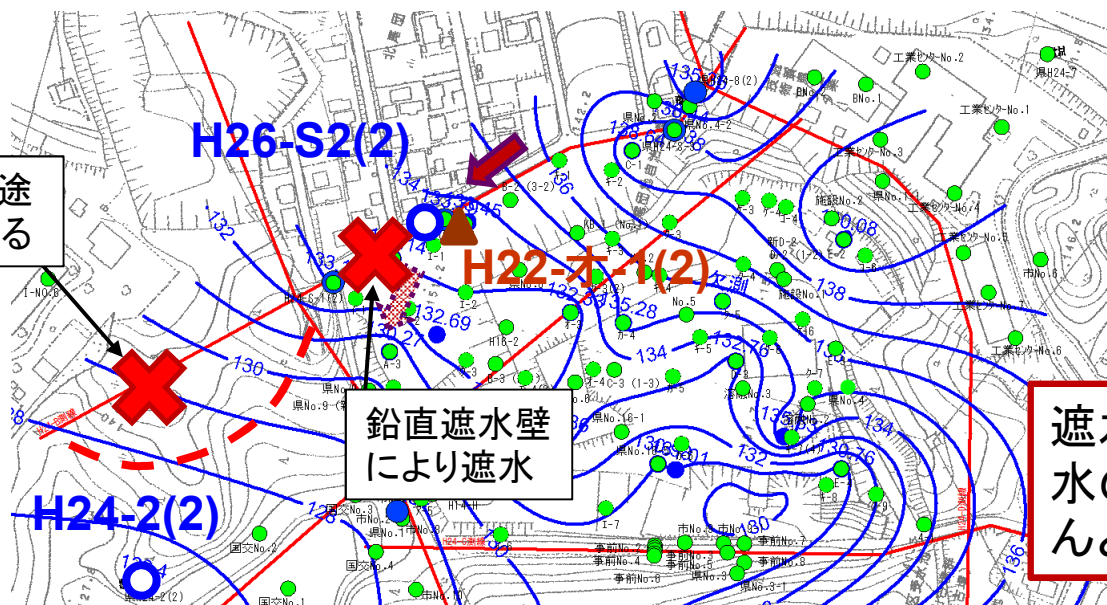


遮水前は場内を經由して流れていたと考えられる

※ 水位等高線はH24年度時点

遮水後

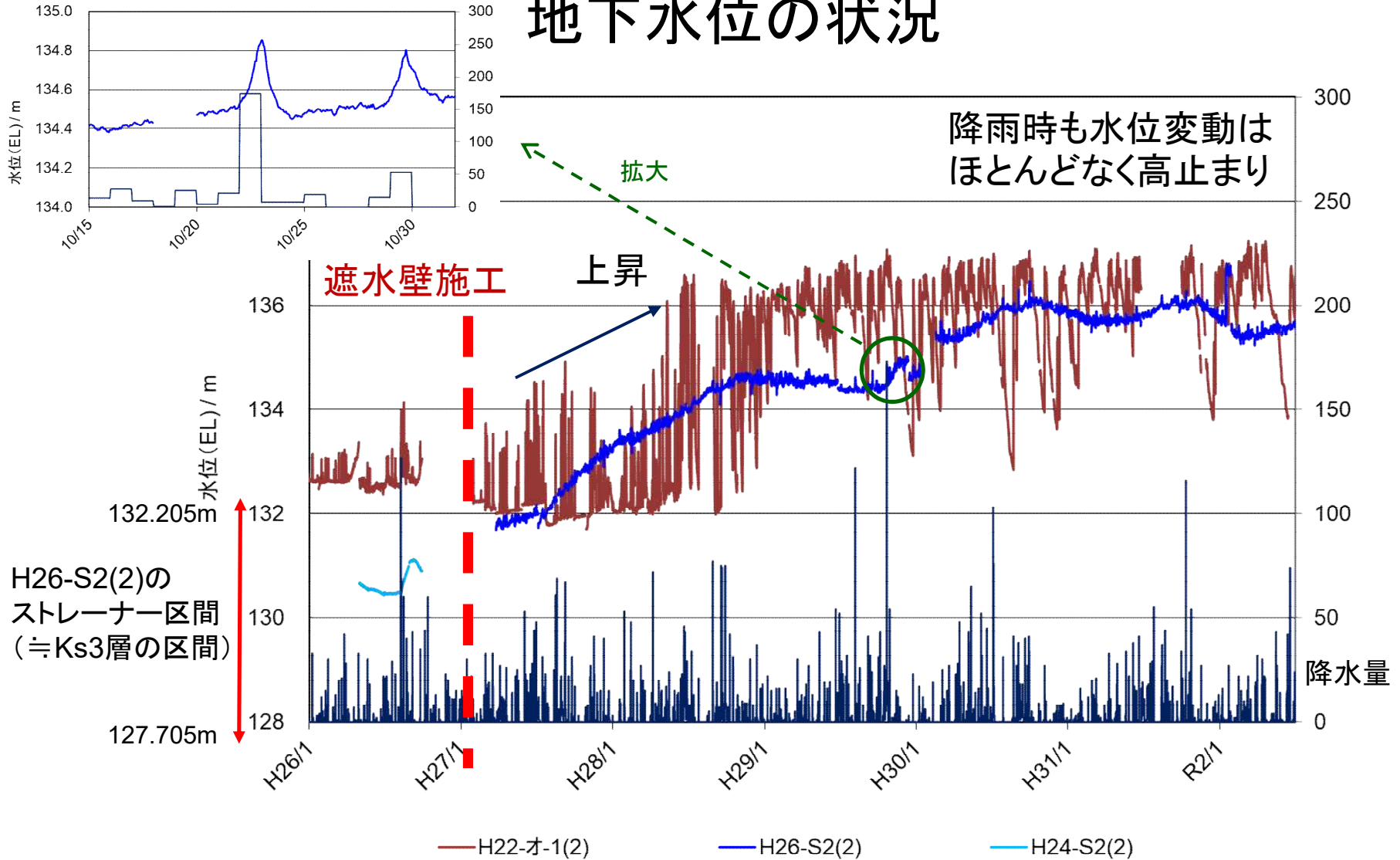
Ks3層が途切れている



鉛直遮水壁により遮水

遮水工により地下水の行き先がほとんどなくなった。

地下水位の状況



遮水壁施工後に地下水の行き先がなくなったため、H26-S2(2)の水位が上昇した。

まとめ

- ◆ 以下の状況から、H26-S2(2)付近のKs3層は、遮水壁により地下水の流れがほとんどなくなったため、遮水壁施工により遮断された浸透水の影響が残っていると考えられる。
 - ✓ H26-S2(2)のEC等やイオン組成に大きな変動がない。
 - ✓ H24-B側線方向の地質状況は、処分場下流で帯水層が途切れており、さらに鉛直遮水壁の施工により地下水の西方向の行き先もほとんどなくなった。
 - ✓ 遮水壁施工後に地下水の行き先がなくなったため、H26-S2(2)の水位が上昇した。

- ◆ 下流のH24-2(2)の水質に異常はなく、汚染が拡大している状況にないと考えられる。